

テーマ

地域の特性・魅力を
生かしたまちづくり

南区のタウントークは、“みどり”と花と福祉のまち”を目指す藤野で開催されました。入り切らないほどの人が詰めかけた会場からは、自分たちのまちを愛する皆さんの熱い思いが伝わってきました。

南区タウントーク
メモ

- 実施日/7月21日(金)
- 会場/藤野地区センター
- 参加人数/約120人
- 発言者数/8人

あなたの街で 市長と語ろう

タウントークに関するお問い合わせは、区役所(1階)の総務企画課か市民の声を聞く課☎211-2042へ。

内容は、市長のホームページwww.city.sapporo.jp/city/mayorからもご覧いただけます。



藤野は福祉の先進地域

藤野地区社会福祉協議会
事務局長 児玉さん



高齢化が進む藤野地区では、散歩気分で立ち寄って、お茶を飲みながら気軽に相談ができる「福祉なんでも相談」などを開催し、地域でお年寄りを支えています。

花で潤いのあるまちへ

藤野地区町内会連合会
環境副部長 岩淵さん



歩道に花を植える「花いっぱい運動」を行っており、花の苗を自分たちで種から育てています。藤野を緑と花で潤いのあるまちにしたいです。

こういった活動はほかの地域でもまねをして、全市的に広がってほしいですね。自分たちもまねされるようなことをやろうという意欲があちこちでわいてくることを期待します。

子供の意見をまちづくりに

藤野地区町内会連合会
青少年部長 石村さん



小中学校4校からなる「ふるさとふじの子ども会議」を開催しています。

豊かな自然など、藤野の良いところを子供の視点から探して提言してもらい、まちづくり活動に取り入れています。

気軽に参加できる 見守り運動を実践

藤野地区青少年育成委員会
会長 伊藤さん



町内会とPTAが連携し、子供の見守り運動を行っています。「パトロール」と書いたステッカーを犬の首輪に付けて散歩するなど、気軽に参加できる活動を実践しています。

子供は家庭や学校だけで育てるのではなく、地域全体で育てるもの。大人たちみんなが子供たちのことを見守っているという思いが、地域づくりにつながると思います。

子供たちの視点を生かす取り組みは素晴らしいですね。厳しい財政状況の中、行政も今ある「良いところ」を活用することで、魅力的なまちをつくりたいです。

